

運輸・自動車部門 4						
削減手段	自動車利用回数の削減					
内容・算出根拠	<p>徒歩、自転車、既存公共交通機関の利用によって自動車の利用を平均して3回に1回減らす。</p> <p>10・15モード燃費を小型車 14km/ℓ、ハイブリッド車 30 km/ℓ、軽自動車24 km/ℓとし、実効燃費を70%とする。</p> <p>年間走行距離を 5,160km とする（自動車工業会「乗用車市場動向調査」H16）。</p> <p>ガソリンのCO<sub>2</sub>排出係数：2.32 kg - CO<sub>2</sub>/ℓ</p>					
削減量単位	<p>2010年まで：小型自動車 0.41 t-CO<sub>2</sub>/台・年、ハイブリッド車 0.19 t-CO<sub>2</sub>/台・年、軽自動車 0.27 t-CO<sub>2</sub>/台・年、～2020年：小型自動車 0.37 t-CO<sub>2</sub>/台・年、ハイブリッド車 0.17 t-CO<sub>2</sub>/台・年、軽自動車 0.25 t-CO<sub>2</sub>/台・年、～2030年：小型自動車 0.34 t-CO<sub>2</sub>/台・年、ハイブリッド車 0.16 t-CO<sub>2</sub>/台・年、軽自動車 0.22 t-CO<sub>2</sub>/台・年</p>					
導入コスト	なし					
費用削減額	<p>2010年まで：ガソリン代削減額：小型自動車 21,100 円/年、ハイブリッド車 9,800 円/年、軽自動車 12,300 円/年（ガソリン小売価格：120 円/ℓ）</p>					
CO <sub>2</sub> 削減コスト	削減コストはマイナスである。					
対象	全乗用車					
目標	2010	対象車両の 10%	2020	対象車両の 30%	2030	対象車両の 80%
車両数		2,061 台		6,014 台		14,725 台
CO <sub>2</sub> 削減量		737 t-CO <sub>2</sub>		1,657 t-CO <sub>2</sub>		3,039 t-CO <sub>2</sub>

運輸・自動車部門 5						
削減手段	貨物自動車のクリーンエネルギー化、エコドライブの推進					
内容・算出根拠	<p>貨物自動車をCO<sub>2</sub>排出量の少ない車両に買い換える。またエコドライブの推進などによって、CO<sub>2</sub>排出量を削減する。合計で20%程度のCO<sub>2</sub>排出を削減するものとする。</p> <p>ただし、貨物自動車の燃費が10年で</p> <p>貨物自動車の平均燃費を 5km/ℓ、平均年間走行距離を 20,000km とする。</p> <p>軽油のCO<sub>2</sub>排出係数：2.66 kg - CO<sub>2</sub>/ℓ</p>					
削減量単位	<p>2010年まで：2.13 t-CO<sub>2</sub> /台・年、～2020年：1.93 t-CO<sub>2</sub> /台・年、～2030年：1.76 t-CO<sub>2</sub> /台・年</p>					
導入コスト	天然ガストラックやハイブリッドトラックへの買い換えは通常車両との差額が生じる。					
費用削減額	燃料（軽油）代削減額：80,000 円/年（軽油小売価格：100 円/ℓ）					
CO <sub>2</sub> 削減コスト	不明（エコドライブのみの場合はマイナス）					
対象	全貨物自動車					
目標	2010	対象車両の 20%	2020	対象車両の 50%	2030	対象車両の 80%
車両数		400 台		950 台		1,440 台
CO <sub>2</sub> 削減量		851 t-CO <sub>2</sub>		1,838 t-CO <sub>2</sub>		2,532 t-CO <sub>2</sub>